

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

斜面

2022.1.9

「幻視だ」。すぐに気づいたという。明け方に近づいてきた飼い猫をなでようとした手が体の中をすり抜けた。

翌月も目覚めたころに、突然空中に土偶が現れた。この時70歳に近かった三橋昭さんは、レビー小体型認知症と診断された◆三橋さんの幻視は朝方に数秒だけ。線画も立体映像も、白黒も、カラーもある。記録に残そうと思い立って、イラストにしてコメントをつけてきた。著書の「麒麟模様の馬を見た」で多くを紹介し、原画展も開いた。認知症で体験する世界を伝えている◆耳の生えた亀、ジョギングするヤギ…。三橋さんの幻視は怖いものが少なく、コメントは明るい。バラの花が急にズームアップした時は「圧巻であった。すごい」。淡い色の花には「インパクトがいまいち」と不満も。摩訶不思議な世界が「見えるって素晴らしい」と受け止める◆病前にVR（仮想現実）体験などで認知症を学んでいた。衝撃や混乱が和らげられたという。認知症は症状も感じ方も百人百様だ。恐ろしい幻視におびえ、認知機能の衰えに動揺して涙する人は多い。寄り添っている家族もまた、迷いや疲弊の中にいる◆2050年には世界の認知症患者が約3倍に増えるとの推計を米大学などが発表した。高齢化がいち早く進む日本の経験は世界に生かせるか。病を理由に損なわれてはならぬ人としての尊厳はどこまで守られているだろう。病を知ること、本人や周囲が少しでもほほ笑むことができれば。

斜面

2022.1.22

「証拠がすべて集まらないうちに論を立てると、大きな間違いを犯す。それが判断を歪めてしまうのだ」。シャ

ーロック・ホームズはまだ出会って間もないワトソンにそう語っているⅡ「緋色の研究」。学者の名探偵らしいセリフだ◆とはいえ現在進行中の事件では、不十分な情報から推論を迫られる場面もある。その時は、判断の歪みが過ちにつながるよう想定幅を広くするしかない。拡大が速すぎて証拠集めが間に合っていないオミクロン株への対応は、そこが肝心であろう◆ゆえに専門家の見解が揺れるのも無理からぬ面がある。政府分科会の尾身茂会長の発言や有志による提言は「人流抑制」から「人数制限」に対策の重心を移している。知事からは戸惑いの声が出た。そこを整理し、分かりやすく説明するのが政府の役割だが、何をしているのか◆県はまん延防止等重点措置の要請を決定した。営業時間の短縮要請に従う店への支援を手厚くできる。県民の警戒感も高まるかもしれない。ただ、飲食店をターゲットにして拡大をどこまで防げるだろうか。走りながら考えるしかない地方は暗中模索だ◆集団感染が相次ぐ教育現場は大わらわ。感染者がいなくても、別の学校に通うきょうだいが検査対象となって登校できなくなる子もいる。タブレットを使った授業に切り替えるのも大変だ。柔軟な対応と現場任せとは違う。責任のあるリーダーの口から、責任のある言葉を今すぐ聞きたい。

しゃめん
1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2022. 1. 22

「しょうこがすべ
てあつまらない
ちにろんをたてる
と、おおきなまち

がいをおかす。それがはん
だんを歪^{ゆが}めてしまうのだ」。
シャーロック・ホームズは
まだであってまもないワト
ソンにそうかたっているII
「緋色^{ひいろ}のけんきゆう」。が
くしゃはだのめいたんてい
らしいセリフだ◆とはいえ
げんざいしんこうちゅうの
じけんでは、ふじゅうぶん
なじょうほうからすいろん
をせまられるばめんもある。
そのときは、はんだんの歪
みがあやまちにつながらな
いようそうていのはばをひ
ろくするしかない。かくだ
いがはやすぎてしょうこあ
つめがまにあっていないオ
ミクロンかぶへのたいおう
は、そこがかんじんである
う◆ゆえにせんもんかのけ
んかいがゆれるのもむりか
らぬめんがある。せいふぶ
んかかきの尾身茂かいちよ
うのはつげんやゆうしによ
るていげんは「じんりゅう
よくせい」から「にんずう
せいげん」にたいさくのじゅ
うしんをうつつしている。ち

じらからはとまどいのかえ
がでた。そこをせいりし、
わかりやすくせつめいする
のがせいふのやくわりだが、
なにをしているのか◆けん
はまん延防止等重点措置の
ようせいをけつだんした。
えいぎょうじかんのたんしゅ
くようせいにしたがうみせ
へのしえんをてあつくでき
る。けんみんのけいかいか
んもたかまるかもしれない。
ただ、いんしよくてんをター
ゲットにしてかくだいをど
こまでふせげるだろうか。
はしりながらかんがえるし
かないちほうはあんちゅう
もさくだ◆しゅうだんかん
せんがあいつぐきょういく
げんばはおおわらわ。かん
せんしゃがいなくても、べ
つのがっこうにかようきよ
うだいがけんさたいしょう
となつてとうこうできなく
なるこもいる。タブレット
をつかつたじゅぎょうにき
りかえるのもたいへんだ。
じゅうなんなたいおうとげ
んばまかせとはちがう。せ
きにんのあるリーダーのく
ちから、せきにんのあるこ
とばをいまずぐききたい。

1面のコラム「斜面」を読もう

斜面

2022.1.9

「幻視だ」。すぐに気づいたという。明け方に近づいてきた飼い猫をなでようとした手が体の中をすり抜けた。

翌月も目覚めたころに、突然空の中に土偶が現れた。この時70歳に近かった三橋昭さんは、レビー小体型認知症と診断された◆三橋さんの幻視は朝方に数秒だけ。線画も立体映像も、白黒も、カラーもある。記録に残そうと思い立って、イラストにしてコメントをつけてきた。著書の「麒麟模様の馬を見た」で多くを紹介し、原画展も開いた。認知症で体験する世界を伝えている◆耳の生えた亀、ジョギングするヤギ…。三橋さんの幻視は怖いものが少なく、コメントは明るい。バラの花が急にズームアップした時は「圧巻であった。すごい」。淡い色の花には「インパクトがいまいち」と不満も。摩訶不思議な世界が「見えるって素晴らしい」と受け止める◆病前にVR(仮想現実)体験などで認知症を学んでいた。衝撃や混乱が和らげられたという。認知症は症状も感じ方も百人百様だ。恐ろしい幻視におびえ、認知機能の衰えに動揺して涙する人は多い。寄り添っている家族もまた、迷いや疲弊の中にある◆2050年には世界の認知症患者が約3倍に増えるとの推計を米大学などが発表した。高齢化がいち早く進む日本の経験は世界に生かせるか。病を理由に損なわれてはならぬ人としての尊厳はどこまで守られているだろう。病を知ること、本人や周囲が少しでもほほ笑むことができれば。

斜面

2022.1.22

「証拠がすべて集まらないうちに論を立てると、大きな間違いを犯す。それが判断を歪めてしまうのだ」。シャ

ーロック・ホームズはまだ出会って間もないワトソンにそう語っているⅡ「緋色の研究」。学者の名探偵らしいセリフだ◆とはいえ現在進行中の事件では、不十分な情報から推論を迫られる場面もある。その時は、判断の歪みが過ちにつながるような想定を幅広くするしかない。拡大が速すぎて証拠集めが間に合っていないオミクロン株への対応は、そこが肝心であろう◆ゆえに専門家の見解が揺れるのも無理からぬ面がある。政府分科会の尾身茂会長の発言や有志による提言は「人流抑制」から「人数制限」に対策の重心を移している。知事からは戸惑いの声が出た。そこを整理し、分かりやすく説明するのが政府の役割だが、何をしているのか◆県はまん延防止等重点措置の要請を決定した。営業時間の短縮要請に従う店への支援を手厚くできる。県民の警戒感も高まるかもしれない。ただ、飲食店をターゲットにして拡大をどこまで防げるだろうか。走りながら考えるしかない地方は暗中模索だ◆集団感染が相次ぐ教育現場は大わらわ。感染者がいなくても、別の学校に通うきょうだいが検査対象となって登校できなくなる子もいる。タブレットを使った授業に切り替えるのも大変だ。柔軟な対応と現場任せとは違う。責任のあるリーダーの口から、責任のある言葉を今すぐ聞きたい。

1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2022. 1. 22

「しょうこがすべ
てあつまらないう
ちにろんをたてる
と、おおきなまち

がいをおかす。それがはん
だんを歪^{ゆが}めてしまうのだ」。
シャーロック・ホームズは
まだであってまもないワト
ソンにそうかたっているII
「緋^ひ色のけんきゅう」。が
くしゃはだのめいたんてい
らしいセリフだ◆とはいえ
げんざいしんこうちゅうの
じけんでは、ふじゅうぶん
なじょうほうからすいろん
をせまられるばめんもある。
そのときは、はんだんの歪
みがあやまちにつながらな
いようそうていのはばをひ
ろくするしかない。かくだ
いがはやすぎてしょうこあ
つめがまにあっていないオ
ミクロンかぶへのたいおう
は、そこがかんじんである
う◆ゆえにせんもんかのけ
んかいがゆるれるのもむりか
らぬめんがある。せいふぶ
んかかきの尾身茂かいちよ
うのはつげんやゆうしによ
るていげんは「じんりゅう
よくせい」から「にんずう
せいげん」にたいさくのじゅ
うしんをうつつしている。ち

じらからはとまどいのかえ
がでた。そこをせいりし、
わかりやすくせつめいする
のがせいふのやくわりだが、
なにをしているのか◆けん
はまん延防止等重点措置の
ようせいをけつだんした。
えいぎょうじかんのたんしゅ
くようせいにしたがうみせ
へのしえんをてあつくでき
る。けんみんのけいかいか
んもたかまるかもしれない。
ただ、いんしよくてんをター
ゲットにしてかくだいをど
こまでふせげるだろうか。
はしりながらかんがえるし
かないちほうはあんちゅう
もさくだ◆しゅうだんかん
せんがあいつぐきょういく
げんばはおおわらわ。かん
せんしゃがいなくても、べ
つのがっこうにかようきよ
うだいがけんさたいしょう
となつてとうこうできなく
なるこもいる。タブレット
をつかつたじゅぎょうにき
りかえるのもたいへんだ。
じゅうなんなたいおうとげ
んばまかせとはちがう。せ
きにんのあるリーダーのく
ちから、せきにんのあるこ
とばをいまずぐききたい。

コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

斜面

2022.1.9

「幻視だ」。すぐに気づいたという。明け方に近づいてきた飼い猫をなでようとした手が体の中をすり抜けた。

翌月も目覚めたところに、突然空中に土偶が現れた。この時70歳に近かった三橋昭さんは、レビー小体型認知症と診断された◆三橋さんの幻視は朝方に数秒だけ。線画も立体映像も、白黒も、カラーもある。記録に残そうと思い立って、イラストにしてコメントをつけてきた。著書の「麒麟模様の馬を見た」で多くを紹介し、原画展も開いた。認知症で体験する世界を伝えている◆耳の生えた亀、ジヨギングするヤギ…。三橋さんの幻視は怖いものが少なく、コメントは明るい。バラの花が急にズームアップした時は「圧巻であった。すごい」。淡い色の花には「インパクトがいまいち」と不満も。摩訶不思議な世界が「見えるって素晴らしい」と受け止める◆病前にVR(仮想現実)体験などで認知症を学んでいた。衝撃や混乱が和らげられたという。認知症は症状も感じ方も百人百様だ。恐ろしい幻視におびえ、認知機能の衰えに動揺して涙する人は多い。寄り添っている家族もまた、迷いや疲弊の中にある◆2050年には世界の認知症患者が約3倍に増えるとの推計を米大学などが発表した。高齢化がいち早く進む日本の経験は世界に生かせるか。病を理由に損なわれてはならぬ人としての尊厳はどこまで守られているだろう。病を知ること、本人や周囲が少しでもほほ笑むことができれば。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

Three large dashed boxes for student responses.

() () ()
伝えたい順番